

科目名	保育実習						
	【保育士必修】						
授業形態	実習	学年	2年	開講時期	後期	単位数	2単位
担当教員	郭 小蘭・渡辺 一弘・河原田 潤・渡部 琢也・櫻井 直輝						

内容および計画	<p>同じ保育所における2回目の実習ですが、下記の6つのことが目標として求められます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 3. 既習の教科や保育実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 4. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価について実際に取り組み、理解を深める。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 6. 保育士としての自己の課題を明確化する。 <p>* 計画欄には保育所における実習の内容を記載します。</p>
1	<p>保育所の役割や機能の具体的展開</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 養護と教育が一体となっていくなされる保育 (2) 保育所の社会的役割と責任
2	<p>観察に基づく保育理解</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもの心身の状態や活動の観察 (2) 保育士等の動きや実践の観察 (3) 保育所の生活の流れや展開の把握
3	<p>子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 環境を通して行なう保育、生活や遊びを通して総合的に行なう保育の理解 (2) 入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 (3) 地域社会との連携
4	<p>指導計画の作成、実践、観察、記録、評価</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価
5	<p>保育士の業務と職業倫理</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な保育の展開と保育士の業務 (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
6	自己の課題の明確化
7	* これまでに学習した理論と保育所の実践をつなげられるように、また、一日を振り返る時に保育関連の教科書を見直してください。
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

教科書	タイトル	保育実習の手引き（購入済み）		
	著者名	福島県保育者養成校連絡会研究部会会員	出版社	福島県保育者養成校連絡会
	ISBN		発行年	2016
	タイトル	「保育所保育指針」（購入済み）		
	著者名		出版社	
	ISBN		発行年	
	実習中「実習評価票」の内容をよく振り返り、改善点を見つけて改善に努めることが望ましい。			

参考書	
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	実習先評価		60%
	実習評価(教員)		20%
	提出物		20%

成績評価	必ず「保育実習指導」も同時に履修登録してください。
学習到達目標	内容欄の目標と同様。
先修条件	卒業必修科目や保育士課程関連科目を順調に履修していることが望ましいです。
その他	実習生として望ましい態度で臨み、実習内容がしっかりと身につくような実習にしていきましょう。